

# 5月も役立つ講座がいろいろ!

## 子育てリフレッシュサロン

◆5月12日(木) 10:00~11:30  
 場所: 参画センター学習研修室 3  
 参加費: 無料  
 託児: あり(1週間前までに要予約)



## シングルマザーの会

◆5月29日(日) 13:30~15:00  
 場所: 参画センター学習研修室 3  
 参加費: 無料  
 託児: あり(1週間前までに要予約)



## 摂食障がい家族の会

◆5月21日(土) 13:30~15:00  
 場所: 参画センター相談室  
 参加費: 無料



知ってる?

## 男女共同参画のキーワード

### <男性の育児休業法の改正について>

男性の育児休業取得率については、2025年には取得率30%にすることを目標としていますが、実際に令和2年度の取得率は12.658%にとどまっています。取得率がなかなか上がらないという課題がありました。令和3年6月に育児・介護休業法が改正され、令和4年4月1日からは段階的に施行されています。今回の改正で、取得率を上げるために、自身の子の出生直後に柔軟な育児休業を取得できるようになるほか、育児休業を取得しやすい雇用環境の整備や個別の周知・意向確認の措置などが企業に義務付けられるようになりました。

#### 改正のポイントは次のとおりです。

- 1 男性の育児休業取得促進のための子の出生直後の時期における柔軟な育児休業の枠組みの創設【令和4年10月1日施行】
- 2 育児休業を取得しやすい雇用環境整備及び妊娠・出産の申出をした労働者に対する個別の周知・意向確認の措置の義務付け【令和4年4月1日施行】
- 3 育児休業の分割取得(生後8週までに最大4週・2回に分割可)【令和4年10月1日施行】

## 女性のための就労支援講座

「仕事と家庭の両立」(予定)  
 ◆6月20日(月) 10:30~12:00  
 講師: 森井 久美子(キャリアコンサルタント・センター相談員)  
 場所: 参画センター学習研修室 3  
 参加費: 無料 定員: 10人程(先着)  
 託児: あり、無料(1週間前までに要予約)



## 市民企画講座募集

今年度も参画センターの「市民企画講座」の募集が始まりました。ぜひ、ご応募ください。  
 ◆内容: 男女共同参画社会への意識を高める講座とし、グループ・団体による自主企画・自主運営で実施し、グループ内だけの勉強会ではなく、一般市民が参加できる講座の開催。  
 ◆助成金: 高松市内で活動をする団体に、25,000円を上限として助成します。(6企画)  
 ◆採用後の提出書類: 市民企画講座企画書・予算書  
 ◆実施期間: 2022年6月~2023年2月末まで  
 ◆条件: 託児付 ◆締切: 6月末  
 応募後、当センターで選考します。



- 4 育児休業の取得の状況の公表の義務付け(従業員1千人超企業)【令和5年4月1日施行】
  - 5 有期雇用労働者の育児・介護休業取得要件の緩和【令和4年4月1日施行】
- 東京都などが都内の企業2,500社を対象に行った令和3年のアンケートでは、男性の育休取得について、65%が「代替要員の確保」が課題だと考えられている。新型コロナウイルスの蔓延に伴い、在宅勤務が増え、男性の3割以上が家事・育児の時間が増えている。
- しかし、男性が周囲の期待に応えようと育休をとらないまま仕事も子育ても全力で行い、結果としてパンクする相談が最近増えているとの報告もある。
- では、男性育休を取りやすくするためには何が必要か。男女ともに最も多かったのが「上司や同僚の理解」で男性22.5%、女性25.1%だった。次いで「仕事を分担しやすくする」(男性18.3%、女性15.6%)。育休制度の設置・拡充とともに、周囲の人々の理解が必要不可欠だという認識が広く浸透していることがわかった。



(参考: 厚生労働省、産経新聞、ニュースイッチ)

# 4月の行事から

## わくわく楽しい! 鉄道模型展

2・3 参加者: 延べ272人  
 場所: 学習研修室全体・ふれあい交流サロン  
 毎回人気の「鉄道模型展」。コロナ禍での開催となったが、検温、消毒、換気をしっかり行った。“四国特急運転開始50周年記念展”コーナーでは、NゲージとHOゲージ鉄道模型による歴代の特急車両、山陽新幹線車両展示をした。模型の公開運転、夜景運転などを親子で楽しんでいた。ぬり絵やクラフトコーナーも好評だった。



## 転勤者とさぬき人のはじめまして講座

4/14 高松のこと、話して知って楽しもう!  
 参加者: 8人 場所: 学習研修室 3  
 参加人数が少なかったが、移住支援団体「JUJ」の代表の方が来ていたので、高松の良いところの話が出て、転勤者の方と話が盛り上がった。途中で、「はじめまして香川の会」の方々が3人来られて、ここではうどんの話で盛り上がった。(参加者の感想)「うどん以外にも楽しいところがたくさんありそうで、楽しみが出来ました」「地元のコアな話も聞けて良かった」



## 女性のための就労支援講座

4/20 働き方とお金の関係  
 参加者: 3人 場所: 学習研修室 3  
 講師: 仁賀順子(キャリアコンサルタント・センター相談員)  
 (参加者の感想)「わかりやすく、また参加者や講師のお話も聞けたので良かったです」「制度について詳しく知ることが出来たので、良かったです。講師とも話しやすい席で質問ややり取りができたので、良かったです」「すごく勉強になり、ありがとうございました。可能であれば、10時から11時半の時間帯が希望です」

## さんかく交流サロン

4/21 はじめての切り絵  
 参加者: 8人 場所: 学習研修室 1・2  
 講師: 折紙の会  
 今回は、3作品を作った。型紙を白いケント紙に被せて、折るところは目打ちでしっかり印を入れ、切るところはカッターでしっかり切り目を入れるのがポイント。型紙を取り、谷折りと山折りを間違わずに指を駆使しながら仕上げた。(参加者の感想)「本日の切り絵の勉強初めてですが、とても楽しく学ぶことが出来ました」「また参加したいと思いました」等。



## トピックス

## 参画センター利用者の育児体験記(男性)

### ～育児体験記～ (匿名希望) 仕事の代わりはいるけれど、父親の代わりはいない

私には、5才の娘ともうすぐ1才になる息子がいる。二人目の子どもが生まれたのをきっかけに、昨年5月から今年4月まで約1年間、育児休業を取得した。「仕事の代わりはいるけれど、父親の代わりはいない」と考えて、下の子の育児のために休業したが、結果的に上の子と一緒に過ごす時間が増え、愛する家族と幸せな思い出を作ることができたので、とても貴重な1年間だった。

子育ては、仕事よりも大変である。仕事は、多少の残業があっても勤務終了後の平日夜や土日に休むことができる。しかし、子育てには定時などない。24時間・年中無休である。こんな大変なことを、妊娠中のつわり等も含めて子どもが生まれる前からずっとやっている女性には、ただただ尊敬するしかない。赤ちゃんは病気にかかりやすく、健康第一だということも身をもって知った。1年の間に、息子は2回も入院した。もちろん保護者も病院に付き添わなければならない。8月に入院した時は妻が付き添い、私は夏休み中の娘の世話をした。2月に再び入院した時は私が付き添い、妻に娘の世話をお願いした。もし私が育休中でなければ、有給休暇を取って仕事を休むしかない。病気や入院という不測の事態は、家族全員の協力がなければ乗り越えられない。子どもの成長は早く、日々成長する我が子の姿を間近で見ることができたことは大きな喜びである。

「まだ小さい」と思っていた上の子も、生まれたばかりの下の子と比べると自分でたくさんできるようになったことに気づく。成長するにつれて、自分で食べられるようになるし、トイレも、お風呂も、着替えも、少しずつ自分でできるようになる。そしていつか、親の手を借りなくても一人でもできるようになり、親元を離れていく。長い人生で、子どもが全身で親の手を求めてくる時期は“今”しかないのだ。

子育てに関する記事で、次のような内容が心に残っている。「あなたは、昨日できなかったことが今日できるようになるし、今日できなかったことが明日にはできるようになる。そして、できなかった時には戻らない。どんなに会いたいと願っても、昨日のあなたにはもう会えない。」子どもが歩けるようになると、ハイハイしていた頃には戻れない。子どもが1才になると、0才の頃の子どもにはもう会えない。そんな当たり前の事実を考えると、父親として子どもと過ごせる時間は限られている。だから、今この瞬間、一緒にいられる我が子を心から抱きしめようと思う。そしてなにより、私をいつも支えてくれて、子ども達の父親にしてくれた妻に心から感謝している。

